

令和7年6月10日

審査結果

長野市大規模施設の長寿命化改修事業に係る

実施設計技術協力事業者選定委員会

委員長 横田 典久

「南長野運動公園長野オリンピックスタジアム長寿命化改修工事 実施設計技術協力業務」公募型プロポーザルの最優秀者については、次のとおり決定しました。

1 参加者数 : 1者

2 最優秀者の名称 : 北野・協栄・金澤異業種特定建設工事共同企業体

構成員 : 北野・千広建築特定建設工事共同企業体

構成員 : 協栄・丸十電気特定建設工事共同企業体

構成員 : 金澤・日本ガス機械特定建設工事共同企業体

3 最優秀者の順位得点 : 10点

4 審査結果の講評

市内事業者で組織された共同企業体であることから、公園の利用状況を熟知しており、公園利用者の動線計画への配慮や安全性の確保を十分に検討された仮設計画となっている他、工期短縮や休館期間短縮に配慮されていること、公園の各施設に電気供給している饋電盤の更新については、停電期間の短縮に向けた対策をすること、環境負荷低減対策として信州リサイクル製品や県産木材の有効活用による施工時のCO2削減に向けた取組み、休日には工事用駐車場を公園利用者へ開放すること等、公園利用者の利便性と公園施設の運営、更には環境にも配慮された提案である。

また、プロムナード、コンコースの防水改修は施設の運営上冬期間での施工となるが、工区を細分化して2班体制での施工とすることで効率の良い施工により、週休2日を確保して施設運営に支障がない期間で工事完了を可能としている。

なお、スコアボードの更新に関する仮設計画については、グラウンド内にクレーンを設置し作業を行う提案がされているが、人工芝及びグラウンドへの影響が懸念されることから、今後の実施設計において検討が必要な事項である。

また、工事用車両搬出入経路については、施設運営関係者と実施設計において、提案内容で課題は無いかなる検討を行うことを期待する。

■ 長野市大規模施設の長寿命化改修事業に係る実施設計技術協力事業者選定委員会

区 分	氏 名	役 職 等
学識経験者	高村 秀紀	信州大学工学部建築学科 教授
	今井 義明（第 9 回）	国土交通省 関東地方整備局長野営繕事務所長
	筋野 真毅（第 11 回）	
	佐々木 武信（第 9 回）	長野県 建設部 施設課長
長野市	田尻 和久（第 11 回）	
	鈴木 秀規（第 9 回）	スポーツ部長
	小林 真二（第 11 回）	
	横田 典久	建設部長【委員長】